

情報B (Information B)

| | | |
|-------------------|--|----------|
| 担当教員名 | 渡部 守義 | |
| 学科、科目詳細 | 都市システム工学科 3年 後期 専門科目 必修科目 1単位 | |
| 学習・教育目標 | | |
| 科目的概要 | 本科目では、Fortran言語によるプログラミングに関する講義を行い、演習問題を通して論理的な思考力を養う。 | |
| テキスト(参考文献) | 学生のためのFORTRAN(東京電機大学出版局) | |
| 履修上の注意 | 授業で課す演習の他に教科書には多くの問題があるので、講義時間以外でもより多くの問題を解くことが重要である。 | |
| 目標達成度(成績)の評価方法と基準 | 合格の対象としない欠席条件(割合) 定期試験(60%)、演習課題(30%)、授業への取り組み(10%)を総合的に評価する。総合評価が60%以上あれば、情報処理に関する基本的知識を習得していると判断でき、本科目の合格とする。して評価し、60点以上を合格とする。 | 1/3以上の欠課 |
| 連絡先 | mwata@akashi.ac.jp | |

授業の計画・内容

- 第1週 Fortranの概要：プログラミングの概要と処理手順
- 第2週 プログラムの作り方：「データの入出力」
- 第3週 プログラムの作り方：「四則演算」
- 第4週 プログラムの作り方：「整数と実数」
- 第5週 プログラムの作り方：「フローチャート」および1～4週の理解度確認のための演習を行う。
- 第6週 変数の宣言：「プログラム文と変数宣言」
- 第7週 変数の宣言：「プログラム文と変数宣言」
- 第8週 中間試験
- 第9週 繰返しと判断：「GO TO文（無条件飛越し）」
- 第10週 繰返しと判断：「IF文（判断と分岐）」「ELSE IF文」
- 第11週 繰返しと判断：「IF文とGO TO文による繰返し」
- 第12週 繰返しと判断：「DO文（繰返し文）」
- 第13週 繰返しと判断：「DO文とIF文による統計計算」
- 第14週 「指定回数繰返し」「後判定繰返し」「前判定繰返し」
- 第15週 9～14週の理解度確認のための演習を行う。
- 期末試験